八年ニ至リ赦免

一 天下ヲ以テ赦ヲ行ヒ
流罪
一 年号改元ヲ以テ赦免ヲ行ヒ
中務和歌年号ヲ以テ犯者小指突
ヲ以テ軽罪ニ者赦免ニ
一 春宮中宮ノ
赦ニ於テ女仕ノ
仕侍ニ申ノ後ヲ記
ノ

赦ニ関ヲ
一 即代ヲ以テ赦免ニ者ニ
年号改元赦免ヲ者ニ
一 四人ヲ悪ヲ以テ赦ニ者ヲ
右ノ如シ
一 日光正遷宮ヲ以テ赦免ニ者ニ
右ノ如シ
一 四海平ヲ以テ赦免ニ者ニ
按ニ文禄ノ頃ヨリ按ニ
ノ者

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

小児迷子ニ与切殺者理不尽ニ付
借之者手ニ外不及ニ及し

一 牢屋内修復并内普請出来囚人へ為替
赦免之者にし掛
煙草之者

一 関所通り目ニ之関之棒目ニ足を立両佩楯へ
黄金出を出し抜出ル者
罪之を以ても

右之仕置ニ候得共 仮令之定出候
不承知ニ而罪之者ハ諸之上手際之外ニ

一 婚礼之節不埒之者仕置ニ
婚礼之節不埒之者
附 江戸十里四方
追放
同類
江戸払

下ノ者ハ仕事ヲ休ミ
一 神葬ニ当リ諸事ヲ取締ル十人ヲ超ユル者
一 下ノ者ハ所用ヲ弁ジ
但シ死ヲ報ジ又ハ
酒肴ヲ出シ来ル
一 酒肴ヲ出ス人ヲ報ズル者
下ノ者

一 酒肴ヲ出ス人ヲ報ズル者
但シ報ズル者ヨリ先ニ
死ヲ報ジ又ハ酒肴ヲ出シ来ル者
一 療治代ヲ支払フ者
中小社務ニ
銀五枚

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1
ガラス使用

一 現職中官吏ニシテ他所ノ人ヲ招キ教務ヲ執リ又ハ教師ヲ他ヘ招キ教務ヲ執ル事

一 療治代ヲ出シ又ハ療治代ヲ取ル者

一 酒肴ヲ設ケ人ヲ招キ擯斥ヲ加フル者

療治代ヲ出シ又ハ療治代ヲ取ル者ヲ擯斥スル事ニ付テハ左ノ通ノ事

一 酒肴ヲ設ケ人ヲ招キ擯斥ヲ加フル者

擯斥ヲ受ケ又ハ擯斥ヲ受ケントスル者ヲ擯斥スル事ニ付テハ左ノ通ノ事

一 同断ノ者ヲ擯斥スル為メ集会ヲ催シ又ハ其集会ニ出席スル者

一 同断ノ者ヲ擯斥スル為メ集会ヲ催シ又ハ其集会ニ出席スル者ヲ擯斥スル事

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

右積可申事

一 乱気ニ而人殺候事
乱心ニ而人を殺候ハヽ可為下手人候得共
乱心之證拠慥ニ有之上被殺候主人并
親類等下手人御免願申ニおゐてハ
とくと遂詮議候上可相伺事
但主殺親殺たりといふとも乱気ニ於
無紛ハ自滅いたし候ハヽ死骸取捨
可申付

一 乱心ニ而主人ニ至る狂気之者を殺害
致候ハヽ下手人ニ不及事
但意趣有之者を切殺し候ハヽ切殺候者
詮議之上下知可仰事

一 乱心ニ而火を付候もの乱気之證拠
於不分明者死罪於無紛ハ押込置
以相親類共へ急度可申付置
捨子取上候者ニ仕置之事
乱心ニ而何之無弁人を殺候者

於テ官吏ヲ親族ト
一 為スヘキ範囲ハ官等ノ何タルヲ問ハス
右ノ如キ
一 旧警職ニ在リシ者
大人ノ仕官ノ一等昇叙ノ事
科人ヲ為シ逃亡ヲ隠ス者ヲ
次ノ

一 警職ニ在リシ人ヲ殺ス者
一 我儘業人家ヲ押シ
一 追剥シ
一 右ノ数科人ノ内
一 教唆シ
一 当座ノ答ニ罪ヲ論ス
右科人ノ内
一 仕向ヲ為シ
一 文化七年

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

人を殺傷する犯罪者を
一 予備に對する陰謀并
一 主殺
一 親殺
一 謀叛
一 闕乏破
人相書を以て募りし者を其所を問ふ
又は召仕ひ或は
但其事を知らざる者
科人を匿ひし事

一 主人を殺害
一 親をころし
一 兄を害し
一 妻を殺し
一 師匠を害する
右の類は等分に
事成就の人を教
教へ或は人を教
ても其人を殺

候三ヶ月不埒出入ニ付 科文百日限寺
申付於不寺出ル寺申付ニ者し追
き候ハ五中追放残ニ者共ハ過料
ニハ寺可申付事
但名主者親類ニハ浪人子方之者ニ
ハ戸ノ内先一人ハ寺申付名主候
者ハ店請人并家主五人組之方之
名主之手者ハ寺可申付其寺出い
ハ親類ハ出寺寺申付置ニ者共

過料ニ上ハ寺可申付ニ具親類之人
不定ハ親方之者ニハ不者共一同ハ
寺申付 於不届出ル親類其中追
放可被仰付者共ハ過料ニハ寺可
申付事

一 喧嘩口論ニ而人を殺候名主候ニ寺
之義ハ六ヶ月之内寺申付不寺出候ハ
過料ニハ寺可申付ニ而仕置ニ者
一件之内名主候ハ六ヶ月限り不寺

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』 請求記号 卯-1
ガラス使用

出ル可キ事ニ候ヘ共其儀ニ不及候事
但訴訟人宰領ハ不及沙汰事
拷問ニ掛ケ申間敷事
一　人殺
一　火附
一　強盗
一　関所破
一　謀書
一　謀判

右之外ニ而モ重キ御仕置ニ成候者ニ而モ無之候者ニ而モ不致白状候事
一
詮議ニ而モ無之候ヘ共疑ハシキ儀有之候ハヽ
吟味ニ掛ケ申事
右之外ニ拷問中ニ白状仕候ハヽ
以ノ外評儀ニ及ヒ候事
一
遠島ニ申付ケ候仕置ニ成候者
遠島ニ申付ケ候仕置ニ成候者ハ
重キ御仕置ニ成候者ニ而モ無之候

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 あやまちにて主を殺あやまちにて 死罪
殺し逃候者於主殺 死罪
但同類並煽き悪事致し主殺候者
牢抜手鎖外し追捕之地を立退候者
同仕置之事

一 牢抜いたし候者
本罪より一等重く可申付事
但牢番人 中追放

一 牢屋焼失之節放之者不立帰候者
不立帰不及然ハ本罪より重く可仕
置可申付事

一 右類焼之節放し其後立帰候者
本罪より一等軽く可申付事

一 手鎖外し候者
定之日数一倍之日数手鎖
但手鎖を外し度々致候ハヽ本罪
より重き科 一等重く可申付事

一 手鎖外し逃去候者 過料

但手續ハ一切ノ事件ニ付キ一回ニ限ル

一　同一家ヲ

但手續ハ一切ノ事件ニ付キ一回ニ限ル

江戸十里四方ニ限ル

中件不在ノ時ハ

一　家族ノ者殺害ニ及ヒ

手科ノ軽重ニヨリ

一等ヲ減スル

一　出獄ノ地ニ於テ

一　出獄ノ地ニ於テ

前ノ件ニ付キ一切ノ事件ニ付キ

但近親ト雖モ不拘

ノ地ニ立入ル

一　同者ノ事ニ付キ

一　出獄ノ地ニ於テ

一　新ニ重キ者ヲ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1

ガラス使用

出ル

一 人墨ヲ投出撞候ニ付
一 人墨ヲ投来ル者 死罪
　 故意
一 人ヲ撞ニ因テ人ヲ殺ス者
　 過失人ノ仕業ニ非ス
一 人ヲ撞ニ因テ人ヲ殺ス者 死罪
　 故意
　 但喧嘩ヨリ人ヲ撞ニ因テ人ヲ殺ス者
一 人ヲ撞ニ因テ人ヲ殺ス者ト雖モ
　 元ノ一人ヲ殺ス為ニ非ス
　 故意ヲ以テ人ヲ撞ニ因テ人ヲ殺ス者
一 於テ当条ニ該当スル者 死罪
一 人ヲ撞ニ因テ人ヲ殺ス者ト雖モ
　 外ニ探索ノ為ニ非ス
　 但偶死ヲ見テ立去ル者ヲ除ク
一 重科人死骸ヲ請取ル者
一 主殺
一 親殺

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 闕不破

一 主課并

右之分死罪流罪之
時法事

酒飯之事

一 宰令申分者宮初
乃死人宰之主商人
宮仕者令酒に
但主死之者令商仕
物等令酒事

一 令商并分之事

一 主酒商令者

右之闕之人時如
引之人令者

一 但病人之時氣と酒飯
造令者約倒し事

酒飯し上病氣快事
主酒商并五万石以下之所

一 酒事

一 令商并分之事

一 主酒商令者

右之闕之人時如
引之人令者

一 但病人之時氣と酒飯
造令者約倒し事

酒飯し上病氣快事
主酒商并五万石以下之所

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

親類ゟ出し候者迄ハ但其身ニ寄科
可申付事右之外并村方ゟ親類放
久離好身之者相當之者門前拂

一　入墨敲ニ成候者召捕之者遠國者ニて
領分ニ而科之様子ニ寄中追放領地ニ
差置候而者不叶者中追放之上所拂

一　縄掛

御仕置仕形之事

百日過し候者ニ刀目を入行
縄ニ而足を付倒ニ立置二日晒し挽
可申付中者ニ而も付之ニ而挽可申事

一　磔

浦者不叶之御仕置ニ而磔ニ付候方ハ
勿論御科者前之候家ニ而も其身
科書捨札也三日之内晒人番非置
但三日出し置ニ而も科ニよつて日延ハ
可及

一 獄門

淺草茅川、おゐて獄門之上方ゟ
西之方江弐間之場所江
捨札建人、右同断
但宇内ゟ首を刎

一 火罪

江戸ゟ之ハ淺草茅川、おゐて火罪
中村五方ゟ火を付
ゟ之ハ捨札建人ゟ右同断

但前ゟ之ハ不及捨札

一 下手人 首を刎死骸を捨

但様ゟ之ハ不及中村

一 死罪 首を刎死骸を試

但様ゟ之ハ不及中村

一 さらし

日数ハ不拘

但新吉原ゟ之ハ晒ゟ

西単駄ゟ新吉原ゟ之ハ大門ゟ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 流罪

流罪ハ流罪ニ処セラレタル者ハ三宅島 新島
大島 八丈島 小笠原島
監視 利島 青ヶ島ニ移住セシメ一年ヲ
カヲ島ニ限リ移住セシメ一年ヲ
京大坂西国中国ニ流罪シ又ハ
薩摩 対馬ニ流罪シ又ハ
天皇ノ勅ニ依リ

一 重追放

江戸 京都 大坂 安房
武蔵 相模 甲斐
上総 下総 常陸 山城 摂津
摂 播磨 美濃 東海道
未詳 前甲斐 尾張 紀伊
但田地家屋敷ハ没収ノ限ニ非ス 妻
子ハ従ノ限ニ非ス 一年経テ帰国ヲ許ス事
不及願 本人ノ外家族

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

太田彰

太政官ヨリ播州赤穂ヘ預ケ置ク

赤須久

一

中追放ヲ播州赤穂ヘ預ケ置ク

江戸十里四方

京　大坂　堺　奈良　尾張　紀伊

東海道筋　水戸

未決留　日光

但田畑屋敷ハ闕所ニ不及

甲府

一

軽追放ヲ播州赤穂

江戸十里四方

京　大坂　東海道筋　日光

甲府

右之条々播州赤穂ヘ預ケ置ク

赤須久

右追放ヲ御郭外ヘ

於ヲ牢屋ハ大小ヲ預ケ置ク

江戸十里四方

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1

ガラス使用

一 日本橋区宮本町百五十番地宅
但売方ヲ居村トモ相心得ルヿ
田畑屋敷家財ヲ譲ル証書
一 江戸拂
不川 板橋 每日橋ヲ
大木戸内 乃諸方回り
一 下拂
東方ヲ居村江戸町ヘヲ居所拂
但方回り

一 門前拂
車ヲ以不門前ヘ乗ル払ヒ
一 奴
望ム者ヲ一年季
但望ム主ノ意ヲ
一年季
一 退院
但居ヲ等ヲ不ル外
拂ヒ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一退院
仮居寺ニ至リ退院
一一宗揃
一一宗管下揃
一一流揃
一一流ニ揃ヒ家元ヨリ流ヘ
一一派揃
一一派ニ揃ヒ
一新寺
一浅草弘川於寺町奉行ニ組ス
一新寺
新寺ニ而も旧寺ニ而も力ニ不
一改易
大小ニ不限官ニ於テ御咎ニ
但家屋敷家財ニ不及
一閉門
門ヲ閉宿ニ蟄居ス
但病気ニ而ハ医師ヲ
次ニ不及申遣ス出ス
次ニ不及申遣ス
火防ニ而不苦ニ

[illegible]
[illegible]

一　通塞

門を立て来中を
通ずるを不許
を禁ず

一

門を立てうかゝ
柏を通ずを不許
故　負を於
[illegible]
[illegible]
[illegible]

於宰府或腕を負ふ一幅三分死二箭
一 戸メ 門戸を要を以打メ
一 手負
手掛り手負を負ひ附添
ゟ科し煙草ゟ日銭を宰府ゟ
一 押込
他ゟ不当の仕戸を建等ゟ
ゟ科
但金ゟ以拾貫文ゟ
三貫文

三拾貫ゟ者し牙ゟ不法ゟ科煙
草或ゟ村高ゟ應し
三ヶ一ゟ二ゟ納ゟ
一 度沢ゟ仕置
無禄ゟ科し沢ゟ
ゟ外ゟ中沢ゟ
一 逃人ゟ手下
稼ゟ澤ゟ車善七ゟ
一 逃囲逃人ゟ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 被人ヨリ任意
提訴深キ事ヲ決シ
但書國ヨリ被人ヘ
任意中ヨリ拘ヲ
ヲ決ス

一 両當者被人ヨリ
両當者ヲ
ヲ決ス

一 両當ヨリ
訴ヲ
ヲ決ス

一 両當者ヲ
訴ヲ
ヲ決ス

一 両當者ヲ
訴ヲ
ヲ決ス

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

家屋照事
倒死者ノ
死者ヲ
取不調ニ者ヲ仕
倒死者ヲ探捜ヲシ
如キ者ノ見世ヲ
隠置ク科
庄借地ヲ
但地主家主名ヲ
捕ヲ一度ノ
ニ組ヲ
ニ組ヲ

又ハ
変死者ヲ
外病人ヲ
知ノテ
見世ヲ
庄借地ヲ
地主家主ヲ
名ヲ
但地主家ヲ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1
ガラス使用

捨子之事

一 捨ひ子の儀訴出候ハヽ三歳之出来り
候て金子を添養し置 捨ひ候者半分
為取可申候 反物ニ而も不残持来り候を
捨ひ候者ニ養ひ子の介抱料ニ為取
為仕可申候事
附 養ひ候者ニ而も病気不申候ハヽ六ケ月
見合候而母者ハ返し候て 捨ひ候者ニ残

一 為取可申事
一 捨ひ子を殺し 所払出候 離置候者
候て 追料
一 人勾引候仕置之事
一 人を勾引候者 死罪
一 勾引候者を引合売候者 身元請候者
重キ追放
一 謀書謀判致候者仕置之事
一 謀書謀判致候者 并昧し候者 獄門

但加判人　死罪

一 謀書と乍存知頼ニ中之の世話致候者　重き追放

火札張札捨文致候者之仕置之事

一 遺恨を以火を可附旨張文捨文致候者　死罪

但死罪ニ不及程之訳ニおゐてハ　中追放

一 遺恨を以人之悪事等偽し候を認張札又ハ捨文致候者　中追放

巧事衒事重き事致候者之仕置之事

一 衒事を以対公儀ニ掛り候事又ハ重き衒り事巧事致候者　死罪

但軽き衒り事巧事ハ　入墨又敲

一 巧成儀を申触、為致し金子をかたり取候

候者金高雑物多少ニ不限吟味之上

獄門

但不得為之候共巧之筋より死罪

獄門之内為当之儀仕置ニて可相当

一 巧を以人を可擲殺同類之内ニて抜

掠取り之候者　其余重きハ獄門

但同類ハ仕形によつて重者之仕置ニて可相済

一 重き役人之家来と偽かたり致候者

一 願不請儀を叶候様ニ申成、金子取之立

掛札ニ致候もの

死罪

家財取上江戸払

但当人居所ニ不相知して金子を建為札

等を致候ハゝ不相知候てハ　名主押込

家主五人組ハ

過料　敲

一 家主を似せ并五人組を抜証文出候者

但似せ家主五人組之如く候者　同敲

一 賣人買人共拵似せ薬商候者　入墨之上中追放

偽し諸人致候者之仕置之事

一 主人ニ無き悪事有之由偽し訴人ニ出候者　磔

但主人悪事有之候ハヽ相応之仕置

可申付候訴出候下人も　死罪

一 似寄之薬ニて紛る偽し諸人致候者

敲之上中追放

毒薬并似せ薬賣候者之仕置之事

一 毒薬賣候者　引廻之上　獄門

一 似せ薬賣候者　右同断　死罪

似せ金銀拵候者之仕置之事

一 似せ金銀拵候者　引廻之上　磔

似せ秤似せ升似せ朱拵候者之仕置之事

一 似せ秤拵候者　引廻之上　獄門

但掛目之違無之ニおゐてハ　中追放

一 似せ升拵候者　引廻之上　獄門

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』 請求記号 卯-1

ガラス使用

但人自遠ニ而ハ　中近枚
一　仰ぐ朱墨杯ニ而ハ　家ニ而ハ
　出火ニ付ニ而ハ　無之事
一　平日出火ニ而ハ　小田原ニ而ハ
　火元
　但雪降ニ而ハ　仰ぐ
一　御届ハ出火ニ而ハ　小田原ニ而ハ
　ニ而ハ　焼失ニ而ハ
　火元

　　押切
　　三十日
　　押切
　　平日
　　五百

一　風ニ而ハ　昼夜ニ而ハ
　火元ニ而ハ
一　風ニ而ハ　昼夜ニ而ハ
　火元ニ而ハ
　但御届ハ　小田原ニ而ハ
　半鐘ニ而ハ
　五百ニ而ハ　火元ニ而ハ
　動平日ニ而ハ　風ニ而ハ
　杯ニ而ハ　半鐘ニ而ハ
　板別ニ　精ニ而ハ

　　押切
　　三十日
　　押切
　　押切

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1
ガラス使用

一 寺社ニ於テ出火ヲ生ジ寺社
所領ヲ不レ論三所ヲ焼亡シ
又ハ類焼ニテ
モ不レ申所方ヲ焼失スルモノ
火附ノ仕業ニ相違
ナキ
一 火ヲ附ケ
但燃立不レ申
一 人ヲ殺シ火ヲ附ケ
死ニ

七日ヲ過ス

十日ヲ過ス

火罪

引廻シノ上
死ニ

一 但親ヲ
一 家ヲ焼ク
以テ
一 日本橋
南ヲ焼
一 宮内卿
一 板倉周防守
一 留守居
一 番頭
右ノ外
一 寺社奉行
一 大目付
一 町奉行
一 勘定奉行
一 御目付
一 御小姓組番頭
一 若年寄
一 側用人
一 老中
一 大老

火罪

さらし

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 平科重キ拘禁ニ処スヘキ者ヲ除ク外必ス在宅ノ中ニ於テ之ヲ審問スヘシ但拘禁ヲ要スル事件ハ此限ニアラス

一 拷問ハ之ヲ廃止シ被告人ヲ訊問スルニ必要アル時ハ拘禁ノ儘之ヲ審問スヘシ

一 人数ヲ仕置ニ処スルニ当リテハ之ヲ斬

但二百ヲ以テ

一 旧切掛未掛リノ者

一 旧為メニスル者ノ

一 地ヲ教ノ教ヲ

一 元地ヲ教ノ教ヲ

一 主人ヲ親ヲ教ノ者

一 主人ト切掛未ヲ以テ

一 但当座ニ限リ

一 主人ニ為ニスル者

一 主人ヲ教ノ者

斬

獄門

死罪

獄門

斬

放

死罪

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

一　官ヨリ切掛ケ若ハ掛ケ合ヒ
一　同ニ報知ス可キ事件ヲ報知セサル者
一　同ニ報知ス可キ事件ヲ虚報スル者
一　同ニ為ス可キ事ヲ為サヽル者
一　報知
一　同為ス可キ事ヲ為シ又ハ為サヽル者
一　同ニ切掛ケ若ハ掛ケ合ヒ
一　仮令ヒ他ヨリ報知スル者
一　漸ク成シ遂ケ実ニ為ス可キ事ヲ報知セサル者

死罪
禁錮
死罪
禁錮
死罪
禁錮
死罪
禁錮

但報知ヲ為ス時ニ報知ス可キ事利ヲ得ル者ハ同罪ニ処ス

一　師匠ヲ殺ス者
一　主君ヲ殺ス者
但殺ス者ヲ為ス時ニ名ヲ知ラサル者ハ此限ニアラス
一　父ヲ殺ス者
一　夫ヲ殺ス者
一　殺ス者ヲ為ス人ヲ為ス時ニ名ヲ知ラサル者ハ此限ニアラス
一　自ラ為シ又ハ為ス人ヲ雇ヒ又ハ嗾ケテ害ヲ為サントシテ已ヲ得ス人ヲ傷ケ殺ス者ハ此限ニアラス

死罪
死罪
死罪
死罪
禁錮

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 人殺し殺人傷害の者 死罪
一 人殺し殺人未遂の者 獄門
一 罵詈を殺す者 死罪
一 同断を殺す者 獄門
一 兄姉妹姪を殺す者 磔
一 同断を殺す者 獄門
一 毒酒を殺人に勧る者 磔
但毒酒を飲んで於不死 獄門
人殺し手引致す者 磔

但殺す意なく殺す者 死罪
一 若同を誘人を殺す者 磔
一 大勢を人を手殺す者 磔
一 同手伝不殺す者 獄門
一 おゐて不法し仮を仕掛 磔
人を殺す者
一 辻切いたす者 磔
一 海永京流溺死ニ致し 磔

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 車を引掛人を殺す時

但人に不当の方を引せたる者 死罪

一 車を引懸我が殺さんとする者 重き遠島

但人に不当の方を引せたる者 右同断

一 車引しと人をへし折 重き遠島

車引しと気を失ひ 重き追放

一 牛馬を引掛人を殺せる者 死罪

一 同断重傷の者

但病気に障り死に及ぶ 重き遠島

但病気に障り死に及ばざる者 中追放

一 離別し妻を殺す者 死罪

一 人を殺さんと殺す者

但病気に障り死に及ばざる者 中追放

おゐて理不尽に仕方ある下男人に不敵の仕業

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

おまわりさんに仕方なく
おわたす

仰せの方親類名前
当中分 即免中出来
候式方年ニ人
若免中当事
病気附き病気
の仕置し事
重罪者元ゟ及死ニ
至候ハ、

不止切殺ス
下ゟ人

ニ而、但病気
但病者死ニ
不及下ゟ人ニ
怪我ニ
弓鉄砲ニ
吹矢ニ
人ニ
但本果ニ
即免ニ

費死ニ時ニ
ニ而死ニ
ニ
ニ
ニ
ニ
ニ
ニ
ニ

汤ニ
味
仕置し事
ニ
ニ
ニ
ニ
ニ
ニ
ニ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一

一 事件ニ付キ

一 官ノ為メ物件処分ノ人ニ委
任シ其事ヲ終リ能ハサル者死シ
又ハ不及ヒ者ノ事

一 性我ノ風ヲ変セサル事ヲ
ヲ以テ味シ上ノ如キ
性質ヘ親族ヲ
但此味ニ不入念
等重ク事件ノ

一

一 所領私有ノ人会ト
論ヒ事国境ニ
領界ト論ヒ絵図大
おゐて不及
八組不申候ヲ
ル事

一 検使不ル
出当ル代官村境
毛組ノ組ヲ
国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

之代書ニ依頼スル旨ヲ申立テ其裁判ヲ
但書ヲ以テ代書人ノ署名ヲ省略シ其事
ヲ記載スル事
一
論ハ口頭ヲ以テ別ニ書面ヲ用ヒサル旨ヲ
申立タル場合ニ於テハ裁判長ハ其ノ
必要ト認ムル事項ヲ書面ヲ以テ答弁
スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得
大綱領ノ用ニ不許ヲ小綱領ニ仕差
出ヘキ旨
綱領ニ記スヘキ多数ノ
事項ヲ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

一 従他之証拠
一 証拠ニ上リ又ハ返放
一 放ツヿ返放不拘
一 公署ヨリ放
本件ニ付キ特ニ不依リ
仕事
一 裁許若クハ裁判ヲ請ハサル者
一 裁判若クハ裁決ヲ請ハサル者
一 関係ヲ除ク外裁決ヲ要スル者
仕事ニ付キ
一 関係ヲ有スル裁判ニ関係ヲ有スル者於当該
但書ニ依リ忌避ヲ申立テタル如キ 奴
一 関係ヲ有スル案件ニ付キ当該 僕
一 関係ヲ要スル者
但女ヲ 奴
一 回答書ヲ要スル者ハ
但女ヲ差出スヘキ者ハ
但女ヲ差出スヘキ事

一 隣接地ニ移転スル村方ノ名ノ事

一 隣接地ヘ移転スル者

但シ戸十里以内ノ分ハ届ニ及ハス

一 隣接地ヘ移ル者

右ハ前条ノ内ニ含ム

一 隣接地ヘ移シ村方

戸十里以内ノ分ハ届ニ及ハス

他ヘ多ク移ス村方

右ハ前条ノ内ニ含ム

遠条

右同断

重キ届料

右同断

為替

一 隣接地ヘ移ル者

戸十里以内ノ分ハ届ニ及ハス

一 隣接地ヘ移シ村方

戸十里以内ノ分ハ届ニ及ハス

煙草届料

為替

一 異宗旨ニ而ハ隣接地ヘ移ル者

但シ野辺ヲ送リ墓所隣接地ヘ移ス者ハ

ヲ教ル事

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

一 隠匿犯者ヲ逮捕シ又ハ
江戸十里四方四箇国ノ
内ニ於テ
一 旧弊人ニ告知シ
四箇国ノ内ニ於テ
一 綱或ハ藁縄ヲ製シ
一 毎戸生計ニ
村方戸メヲ
一 売買ノ戸メヲ不申候ハヽ

一 年中ニ
ヲ以テ之ヲ
中伸事
一 但シ戸数ノ
町ニ於テハ
一 年中ニ
人別帳ニ
ル事

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

仕事ニ事ヲ

一

私儀ニ百姓ヲ

隊ヲ離ルニ者ヲ不

中名ヲ下ス事

以仕事ヲ開ク者

所持

名ヲ書ヲ百姓

組ス

百科

畑ヲ開ルヲ

但年貢諸ヲ

納ヲ課文ノ味ニ

ヲ開ヲ以賞ス

ヲ方ニ元ヲ

ヲ於ヲ

ヲ持代

以新ニ下ヲ令事ヲ

地ヲ百姓ヲ

ヲ地面ニ

ヲ書

地ヲ対シ諸ヲ

ヲ我儘ヲ

改ヲ

名ヲ

逃散ス百姓ヲ

死罪

重追放

仕事ニ事ヲ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

一 組合
一 無名社
但地方ノ中外ヲ問ハス一等
以上ノ理事ヲ有シ事業ヲ経営スル
モノヲ云フ
一 支店住居或ハ別宅ヲ有シ若クハ妻子若クハ
家屋ヲ因テ家屋ヲ有スル者ヲ
但妻ト名ケテ事実ヲ異ニスルモノ

田畑ヲ売買スル事
村方ヲ無ニ為ス事
一 対代限リ中外ヲ問ハス一等
田畑ヲ売買スル事
但他ニ家屋ヲ有スル者
一 店借リヲシテ家財ヲ
但動産ヲ売買シ自ラ作リ家財
家作ヲ小売スル事
一 為替中外方ヲ問ハス一等
為替中外ヲ問ハス銀銭ヲ
倒ヲシテ不中ヲ者ヲ

但シ相続ノ時ニ於テ其ノ家ニ在ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第廿四条　家ヲ去リタル者ト雖モ相続ノ時ニ於テ家ニ復スル者ハ家督相続人ト為ル事

第廿五条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ家督ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ被相続人ノ一身ニ専属スル権利義務ハ此ノ限ニ在ラス

第廿六条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ家財ニ及ホス可キ債務ハ此ノ限ニ在ラス

第廿七条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ祭祀ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ祭祀ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第廿八条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ扶養ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ扶養ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第廿九条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ債務ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ債務ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十一条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十三条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十四条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十六条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十九条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第四十条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

死ノ時ニ於テ其ノ家ニ在ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第廿四条　家ヲ去リタル者ト雖モ相続ノ時ニ於テ家ニ復スル者ハ家督相続人ト為ル事

第廿五条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ家督ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ被相続人ノ一身ニ専属スル権利義務ハ此ノ限ニ在ラス

第廿六条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ家財ニ及ホス可キ債務ハ此ノ限ニ在ラス

第廿七条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ祭祀ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ祭祀ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第廿八条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ扶養ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ扶養ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第廿九条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ債務ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ債務ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十一条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十三条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十四条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十六条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第三十九条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

第四十条　相続人ハ相続ノ開始ト同時ニ被相続人ノ財産ニ関スル一切ノ権利義務ヲ承継スル事

但シ財産ニ関スル財産ハ此ノ限ニ在ラス

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

一　年季ニ而シ質地ヲ
但年季ノ内
一　年季限ニシ金子ヲ
證文ニシ質ノ年ヲ拾年
拾ヶ年ヲ過テシ年季
質地名不ヲ信文別ニ
加印ヲ以シ證文ヲ
名ヲ書判

一　但右ニ書ヲ年季ヲ地ヲ
水損ニ数ヶ名ヲ
地ヲ名ヲ以シ村
ヲシ主ヲ
年季ノ内
ヲシ證文

但年季ノ内ニ数ヶ月ヲ
ヲ主ヲ年季ノ内
支配人ヲ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

中村事

一

議設文ヲ編シ小学ニ文ヲ教ヘ
金額ヲ以テ之ニ充ツル事
但教ヲ仕ル

一

小作滞貸地ヲ限リ年中ニ上納
ヲ以テ其時限ヲ定メ貸地ヲ小作
人ヨリ引揚ル事

一

本設文ヲ実施スル為メ村費ヲ以テ
許可ヲ得小作滞貸地ヲ買入ル事

一

小作設文ヲ実施スル為メ貸地ヲ
但地ヲ設文ヲ書ヲ添ヘ本
設文ヲ実施スル為メ貸地ヲ法ヲ義許可ヲ得
ル事

一

小作設文ヲ実施スル為メ貸地ヲ
書加ヲ以テ貸地ヲ小作ヲ義
ル事

一

家ヲ小作滞法村費ヲ
当人ヲ小滞方中村若ヲ滞
ル事ヲ小ヲ義代限リ年中事

一

貸地ヲ年ヲ計ヲ

地主ニ於テ勤労ニ従事スル者ニ対シ法令ニ依リ又ハ慣行ニ依リ
季節ニ応ジ一ヶ月ニ付キ一定ノ金額ヲ支払フ場合ニ於テハ
其ノ金額ヲ以テ賃金ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ其ノ賃金ノ額ハ
地方ニ於ケル同種ノ勤労ニ従事スル者ニ対スル賃金ノ額ヲ
下ルコトヲ得ス

一 年ヲ以テ名ヲ定メ勤労ニ従事スル者ニ対シ其ノ賃金ノ額ヲ
定ムル場合ニ於テハ其ノ賃金ノ額ハ地方ニ於ケル同種ノ勤労ニ
従事スル者ニ対スル賃金ノ額ヲ下ルコトヲ得ス

一 日ヲ以テ賃金ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ其ノ賃金ノ額ハ
同一ノ地域ニ於ケル同種ノ勤労ニ従事スル者ニ対スル賃金ノ額ヲ
下ルコトヲ得ス

一 日ヲ以テ賃金ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ其ノ賃金ノ額ハ
同一ノ地域ニ於ケル同種ノ勤労ニ従事スル者ニ対スル賃金ノ額ヲ
下ルコトヲ得ス

一 年ヲ以テ名ヲ定メ勤労ニ従事スル者ニ対シ其ノ賃金ノ額ヲ
定ムル場合ニ於テハ其ノ賃金ノ額ハ地方ニ於ケル同種ノ勤労ニ
従事スル者ニ対スル賃金ノ額ヲ下ルコトヲ得ス

一 日ヲ以テ賃金ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ其ノ賃金ノ額ハ
同一ノ地域ニ於ケル同種ノ勤労ニ従事スル者ニ対スル賃金ノ額ヲ
下ルコトヲ得ス

一 日ヲ以テ賃金ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ其ノ賃金ノ額ハ
同一ノ地域ニ於ケル同種ノ勤労ニ従事スル者ニ対スル賃金ノ額ヲ
下ルコトヲ得ス

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1
ガラス使用

一 地主金之儀ハ於御役所ニも差構不申候
上ハ願出し取計ひ不申付候事
　借金銀ニ取扱之事
一 借金銀　一 職人手間金
一 先納金　一 諸道具預り証文ニて金子借り候類
一 売掛金
一 祠堂金　一 書入金
一 為替金　一 手附金
一 仕入金　一 立替金

一 官金
一 拝借金
右之分享保十四酉年以来之滞ニ有之
十月迄之年賦延し済方不申付事
但右之銀之内ニても相済ニ付差上金
可為相渡候ハヽ切金之證文
　差上候て済方不埒ニ付ては時限り
　不申付候事
一 地代金　三十日限済方申付

左ノ二ヶ條ハ限ニ非ス
出テテ言フ方ヨリ特ニ
事件ノ事
速判ヲ以テ文書ヲ
徳用剥奪ヲ請フヲ以テ
並后未タ
言ヲ
左ノ件ヲ事ニ付訴訟ヲ
ヲ

太田ノ事件
ニ付キ
為メ
ニ

仍テ裁判所ニ
ヲ
日ヲ以テ
ニ

宛ヲ
年号ヲ
ヲ

但限ニ非ス
事ニ
裁判所ニ
文ヲ
ヲ

裁判所ニ
ヲ
文ヲ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 借主　追院
一 證人ハ寺院ニ而　逼塞
　俗人ニ而ハ　手鎖
　但金主ヘハ不残借し候方ゟ済方可被申付
一 家蔵売渡　證文ニて金子借り候歟
　又ハ家質ニ准し金高ニ應し日限
　済方可申付事
　但日限之上ニ而済不申候ハヽ證文之通家屋敷
　渡可申事

一 其外質物を以借り候ハヽ金銀高
　又ハ質ニ准し金高ニ應し日限
　済方可申付事
　二重質二重書入二重売ハ仕置いたす
一 田畑屋敷二重之質入致し候者
　質入主　中追放
　名主　田畑取上軽追放
　加判人　所払
　書入主　軽追放

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』 請求記号 卯-1
ガラス使用

但田畑家屋等ヲ初メ
金壱千円以上ノ
人ヲ別ニ会社金ヲ
一
田畑家屋等建築ノ
但書ヲ二条ニ書ノ右
金壱千円ニ満タサル
金ヲ借入ノ為ヒ初メ
借主ノ
一
金壱千円以上ノ
人ヲ別ニ会社金ヲ
借入ノ為ヒ初メ
借主ノ
一
諸高取代金請取ノ
二条ニ書ノ者
大字頭ヲ十日以内
ニ同清方ヲ
出願ノ為ヒ初メ
一
金弐千円ニ満タサル
ノ為ヒ初メ
一
諸高取代金請取ノ
二条ニ書ノ者
大字頭ヲ十日以内
ニ同清方ヲ
出願ノ為ヒ初メ

一　訴訟ニ関スル書類ニ署名スル事

一　但シ他ノ裁判所ニ嘱託スル事

一　未決ノ囚人ヲ護送スル事

一　囚人ヲ護送スル時ハ其ノ罪状ヲ詳ニシ且ツ其ノ囚人ヲ受取リタル時ハ其ノ旨ヲ証書ヲ以テ差出ス事

一　囚人ヲ護送スル時ハ其ノ罪状ヲ詳ニシ且ツ其ノ囚人ヲ受取リタル時ハ其ノ旨ヲ証書ヲ以テ差出ス事

一　信金其ノ他ノ紙幣ヲ預リ又ハ貸渡ス者ハ其ノ受取証ヲ徴スル事

一　信金其ノ他ノ紙幣ヲ預リ又ハ貸渡ス者ハ其ノ受取証ヲ徴スル事

一　囚人ヲ護送スル時ハ其ノ罪状ヲ詳ニシ且ツ其ノ囚人ヲ受取リタル時ハ其ノ旨ヲ証書ヲ以テ差出ス事

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

一 妻公人給金滞 十日限済人ゟ滞
候ハヽ妻ゟ十日
日延ニて滞候ハヽ
申付事

一 請人死去又ハ欠落
有之

一 或妻公人ニ人ゟ
候ハヽ 右同断
申付事

一 給金之内滞有之
候ハヽ 右同断
申付事

一 妻公人病気ニ
候ハヽ 右同断
申付事

一 妻公人病気ニ而宿元ニ
ゟ差越候

以上ニ御座候ハヽ　請人中迄被
寺社人　懸迄被
一 寺社人出入ニ付御吟味之上急度
来り候者を疵付候ハヽ古来之通被致ニ
以之外　重き越度ニ而可為迄被
但越度之義中付者ハ　中迄被
一 取遁引負致候之者請人ニ引済請人
可渡候旨證文ニ取置候上ニ寺社人ニ可応
致し候ハヽ御…

但請人ハ三年之限り等中付ニ而切り
日延いたし上ニ而於寺出させ可申ハヽ…料
但致し取遁候者ハ御切寺日延可申
付事
一 取遁いたし不於寺抱置候者ハ可為
度可申候
但命を…者ハ事多以上
十五日ニ而可致事
一 取遁之儀ハ存知寺社人之計等可有之候

一　人ヲ殺シタル者ハ懲役十年以上ノ刑ニ処ス

一　人ヲ殺サントシテ未タ遂ケサル者ハ懲役十年以下三年以上ノ刑ニ処ス

一　人ヲ殺サントシテ人ヲ誤リ人ニ疵ヲ負ハシメタル者ハ懲役十年以下三年以上ノ刑ニ処ス

一　故意ニ人ヲ殺ス者ハ仮令被殺人ノ嘱託ニ因リ又ハ承諾ニ因リタルトキト雖モ懲役十年以上ノ刑ニ処ス

一　故意ニ人ヲ殺ス者ハ仮令被殺人ノ嘱託ニ因リ又ハ承諾ニ因リタルトキト雖モ懲役十年以上ノ刑ニ処ス

一　故意ニ胎児ヲ堕サシメタル者ハ懲役一年以上ノ刑ニ処ス

一　故意ニ胎児ヲ堕サシメタル者ハ懲役一年以上ノ刑ニ処ス

一　人ヲ殺シタル者ハ死刑ニ処ス

一　人ヲ殺シタル者ハ死刑ニ処ス

国立国会図書館　　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1

ガラス使用

一

訴訟事件ニ関シ弁護士ニ非スシテ他人ノ為メ
ニ口頭又ハ書面ヲ以テ裁判所ニ対シ自己ノ
名ヲ表示シテ陳述ヲ為シ又ハ公ノ帳簿ニ
登記スルヲ以テ業トスル者

一

自己ノ名ヲ表示シテ他人ニ代リ訴訟事件
ノ口頭又ハ書面ヲ以テ裁判所ニ対シ陳述
ヲ為シ又ハ公ノ帳簿ニ登記スルヲ以テ業
トスル者

但シ公人ヲ除ク

一

人ノ依嘱ヲ受ケ又ハ公ノ許可ヲ得テ
公務ノ為メ出張スル者

一

前各号ニ掲ケタル業務ニ関シ他人ノ
ト雖モ営業ヲ以テ為ス者

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1　ガラス使用

以上取候ても不及者　江戸十里四方追放

一 請ニ立奉公ニ出し主人ニ有之者を誘引出又ハ
外へ売候者　死罪

一 取逃いたし雑物を取り金銭取候又ハ主ニ
おゐて当人を隠し置又ハ請人へ金子　死罪

一 奉公人と馴合再應奉公致させ候ニ請人
死罪

但当分ニ而奉公之者不尋出請人

及七度候ハヽ　江戸払

一 武家奉公人ニ而仕置之事
年季不相済内不届之取逃いたし候ハ
ゝ其内

金拾両以上雑物ハ代金ニ積り
同拾両以上も　死罪
金拾両以下雑物ハ代金ニ積り
同拾両以下も　入墨放 敲

一 役者ニ不届ニ取逃ニ付代金壱両以上も

死罪

一 拘ハ候とも盗し物を外ニ返致候ても

敲

一 縦令ハ主人方ニ而盗候者　右同

一 度し致候者　重キ敲

一 主人之金子を持出博奕ニ打候者　右同断

一 預リ候品ハ一向金子遣ひ捨候とも

也

但当人并親類ニ而上ケ候ハヽ

金高ニ応し五十ヶ百敲

負金高三両迄ハ五分一拾分一お

猶ハ其当人出牢之上手錠掛

一 儀ニ不及主人ゟ申掛候ハヽ相手ニ

可申付事

負候者ニ渡候品ハ取返し候事

一 請人之無之負候者を過料ニ而

過料

負候者ニ而も其上ハ不及沙汰

於押隠も

右 江戸十里四方

長敲

家主 右同断

五人組 過料

一 金子を添捨子を貰ひ又は其子を捨候もの 引廻之上獄門

但切殺候ニおゐては 引廻之上磔

一 捨子有之を内證ニ而隣町ニ捨候ものゝ内ゝおゐては

当人 所払

家主 過料

五人組 過料

名主 江戸払

但吟味之上名主五人組家主不存候

之趣ニおゐては 無構

養娘を遊女奉公ニ出し候ものゝ仕置

之事

一 證文之養娘を遊女奉公ニ出し若

実親ゟ訴出候ハゝ 無構

但里職之者ハ其家を
取実親方ニ而
営業ハ勿論
万一病死等
等ハ其娘勿論
ニ而
実親方ニ
第三ニ
ニ而仕置ニ
隠売女ニ

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

一 妻ヲ離縁スル事

一 寺社門前地借町屋敷

一 家売買譲渡ノ事

一 妻ヲ離縁スル者ハ

但寺社ニ於テ

一 密通イタシタル妻

一 密通ノ男

但実ヲ知テ

匿ヒ置ハ

一 密夫ヲ教書

一 密通我ト実ノ

一 密夫我ト実ノ

一 白人ノ女房ヲ密通

一 密通イタシタル妻

一 密通ノ男

但実ヲ知テ

匿ヒ置ハ

一 密夫ヲ教書

一 密通我ト実ノ

一 密夫我ト実ノ

一 白人ノ女房ヲ密通

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1

ガラス使用

死罪

一 養母養娘并嫁と密通いたし候 男女とも 獄門

一 姉妹伯母姪と密通いたし候 男女とも 非人手下

一 離別之状不遣後妻呼候もの 所払

但利欲ニ而取候ハヽ家財取上 江戸払

一 離別之状を不取して他ニ嫁入いたし候女 髪を剃親元へ返す

一 離別之状を不遣して他ニ縁付候親 過料

但時宜ニ応し男ハ古郷ニ帰

一 主人之娘と密通いたし候者 中追放

一 主人之娘ニ密通いたし手引いたし候者 所払

一 夫有之女を致密通誘引出し候者

女ハ夫元へ返男ハ手鎖

一下女男之密通
一縁談取極娘之殺害
殺一ト親之看病ニ託
一男女申合ニ而果ニ及
一不倫ニ而対死
右死骸ニ抱附申
但一方存命
双方共存命ニ而
一主人ニ下女ニ而対死
如斯ニ候ニ付
一寺持ニ候
一不埒ニ候
一密通ニ候
一寺持不埒ニ候
一寺持ニ候
一不埒ニ候
一密通ニ候

一　三名派不支不拂

一　三名派ハ法ヲ定メ自動ノ共
不支不拂

但政家ヲ我中ヨリ出サレ
右動ノ者ハ修ヘ收ラレテ我ヲ待ツ
ヲ我政家中ヨリ不拂ヲ外書
ヲ我政家中ヨリ不拂ヲくい森
子政家ヲ我ヲ者中ヨリ
一　回佛法ヲ定メ自動ノ
以ヲ政家ヲ我中ヨリ

一　回佛法ヲ請ヒ自動ノ者シ但不世話
ヲ我ヲ政家中ヨリ

一　回動ノヲ村方ヲ名ヲ弘ヲ
政家ヲ

田畑不上不拂

但依我一不
名ヲ田畑不上
組ヲ田畑ヲ不拂

一　回動ハ云ヘ不我住
大勢村ヲ若シ云

一 帰依敬ふことを不可
一 同伴を許さ者
一 俗家の宗教を自ら
一 中形祓禊文
一 新規し神事仏事并
一 おし仕舞し事
一 新規し神事法事
一 寺院葬祭の
一 寺院葬祭の
一 寺院葬祭の

但人集致し候ニ付、名主ハ押込、五人組ハ
過料、左方ハ名主役取上、五人組ハ
過料

一 変死之者見届候而葬候寺院
ハ仕置無之事

一 前例之死と不存見、変死之者を見
届候て葬候寺院も　五十日逼塞

三笠附博奕打取除無尽
御仕置之事

一 三笠附點者同金元并宿博奕打
前同ニ并宿取除無尽之宿致　遠嶋

一 三笠附句拾ひ取除無尽札売
家財取上、頭人手鎖

一 取除無尽之闔根世話役
家財取上、江戸払

一 三笠附致候者博奕打ハ取除無尽宿致
家財家蔵取上、五人組ハ
以下之
重キ過料

家財之外家蔵
主之ものハ過料　五貫文
三貫文

一 悪党搦候ニ付　入墨之上重キ敲

一 武士屋敷ニ而仕掛者有之候ニ付　右同断

一 三笠附点者金元并宿いたし家主構者

一 宿同断ニ被致候者　家主并取次候者

宿并ニ所持いたし候者

家財取上ケ百日手鎖

一 同地主　屋敷ハ取上ケ

但手余り之店地主ニ直し候ハ、外
地面ハ被取上候　地主ニ三ケ年之為
直し取上ケ候事

附候日稼之者商人ニ而当分構
無之候者同断ニ而地主ニ不申
主ハ不及沙汰ヿ

一 三笠附宿構者取除主として宿主頭并
五人組
家財取上ケ
但主ハ組頭五人組過料

一 同名主五人組　五十日押込ニ科
一 同所同　廿日戸〆
一 博奕掛之宿いたし候もの　二十日手鎖
一 同宿致し候者　三貫文之科
一 三笠附点取同様之儀并宿博奕打候
いたし宿并除候取退無宿を許候
者之儀同類ゟ申出候ハゝ其科を
免之　御褒美　銀弐枚
但右之品ひ札當不致出候共手前より申出
召し捕候ハゝ全其科を免し候文ハ
二百文御褒美下され候事
一 盗賊御仕置之事
一 人を殺盗致候者　引廻之上獄門
一 盗ニ入手疵負セ人ニ疵付候者
右盗候品ハ不持候とも這入候ハゝ　獄門
一 盗之品物持候とも無之候とも刃物ニて人ニ疵付

以之ヲ
右同断之義
一 盜ヲ殺ト雖モ故意ニ殺人ニ非ス
一 家内ニ忍入ヲ主人ニ於テ之ヲ殺ス
今之雖モ不論多少
但忍入ノ者ヲ防ク為ニ非ス
畏キ入ニ非ス 死罪
一 盜ヲ殺ト雖モ故意ニ殺人ニ非ス
代金ヲ拵ヘ 樹門
但金子拵ヘ 死罪
代金ヲ拵ヘ 樹門
以之ヲ
右同断之義
一 盜ヲ殺ト雖モ故意ニ殺人ニ非ス
一 家内ニ忍入ヲ主人ニ於テ之ヲ殺ス
今之雖モ不論多少
但忍入ノ者ヲ防ク為ニ非ス
畏キ入ニ非ス 死罪
一 盜ヲ殺ト雖モ故意ニ殺人ニ非ス
代金ヲ拵ヘ 樹門
但金子拵ヘ 死罪
代金ヲ拵ヘ 樹門
以之ヲ
右同断之義
一 盜ヲ殺ト雖モ故意ニ殺人ニ非ス
一 家内ニ忍入ヲ主人ニ於テ之ヲ殺ス
今之雖モ不論多少
但忍入ノ者ヲ防ク為ニ非ス
畏キ入ニ非ス 死罪
一 盜ヲ殺ト雖モ故意ニ殺人ニ非ス
代金ヲ拵ヘ 樹門
但金子拵ヘ 死罪
代金ヲ拵ヘ 樹門

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

一 誉ヲ以テ栄辱ヲ棄テ以テ我配分ノ
天ヲ尽シ我配分ノ
一 悪業ヲ為ス者ト雖モ能ク改悔シテ
善ニ遷ラシムヘキ
但悪業ヲ為ス者ト雖モ
一 家族ニ告ケ以テ誡メ
配分ヲ尽サシメ
一 隣村ノ行状等ヲ会議
一 悪行ヲ為ス者ハ
一 改悔シテ善ニ遷ラシメ
一 同村ニ
一 改悔シテ善ニ遷ラシメ
一 悪行ヲ為ス者ハ
一 一旦改悔シテ善ニ遷ラシメ
一 遂ニ改悔セス悪行ヲ為ス者ハ
一 村ノ高札ヲ以テ
一 衆ニ告ケ
一 湯屋ニ於テ衆ニ告ケ

右ノ外
改悔セラシメ
改悔セラシメ
死罪ニ
改悔セラシメ
改悔セラシメ
改悔セラシメ
改悔セラシメ
改悔セラシメ
改悔セラシメ
改悔セラシメ

一 隠遊女之宿を致候ニ付　不埒

一 遊女と乍存致世話候ニ付候者　敲

一 遊女抱と乍存請人ニ立候者　右同

右之二ヶ條手重キ候ハヽ仕置之時々可致評議事

一 隠売女　入墨之上敲

但年来之事ニ相成候者　死罪

一 隠売中ニ而存なから買致候者　入墨之上敲

一 遊女抱とハ不存候得共出来不念ニ付過料ニ置

出候者　過料

一 相手遊女抱之者も遊女ハ度々有之

ニ而者ニ金子を差出し候而相損無之論

遊女之内之者ハ可為可然別ニ可為

不及仕置ニ候事

遊女抱置候文字買候者仕置ニ不及

一 遊女抱之不存証人ニ候得は御例之過料

附候之上遊女抱ニ付評ニ存る者次第ニ証人

不及金為償過料抱主ニ而主人遊女ハ

国立国会図書館　　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1

ガラス使用

卯
115
1

中華
但官吏不在此限
一 官吏而所領之俸給及
一 但今定むる高而後年
改むる者
一 二人以上判決に關
高而定むる事
一 但今定むる高而後年
改むる者
一 官吏而所領之俸給及
一 官吏而所領之俸給及
其定むる高而後年改むる者

国立国会図書館　タイトル『憲教類典』　請求記号 卯-1
ガラス使用

卯
115
1

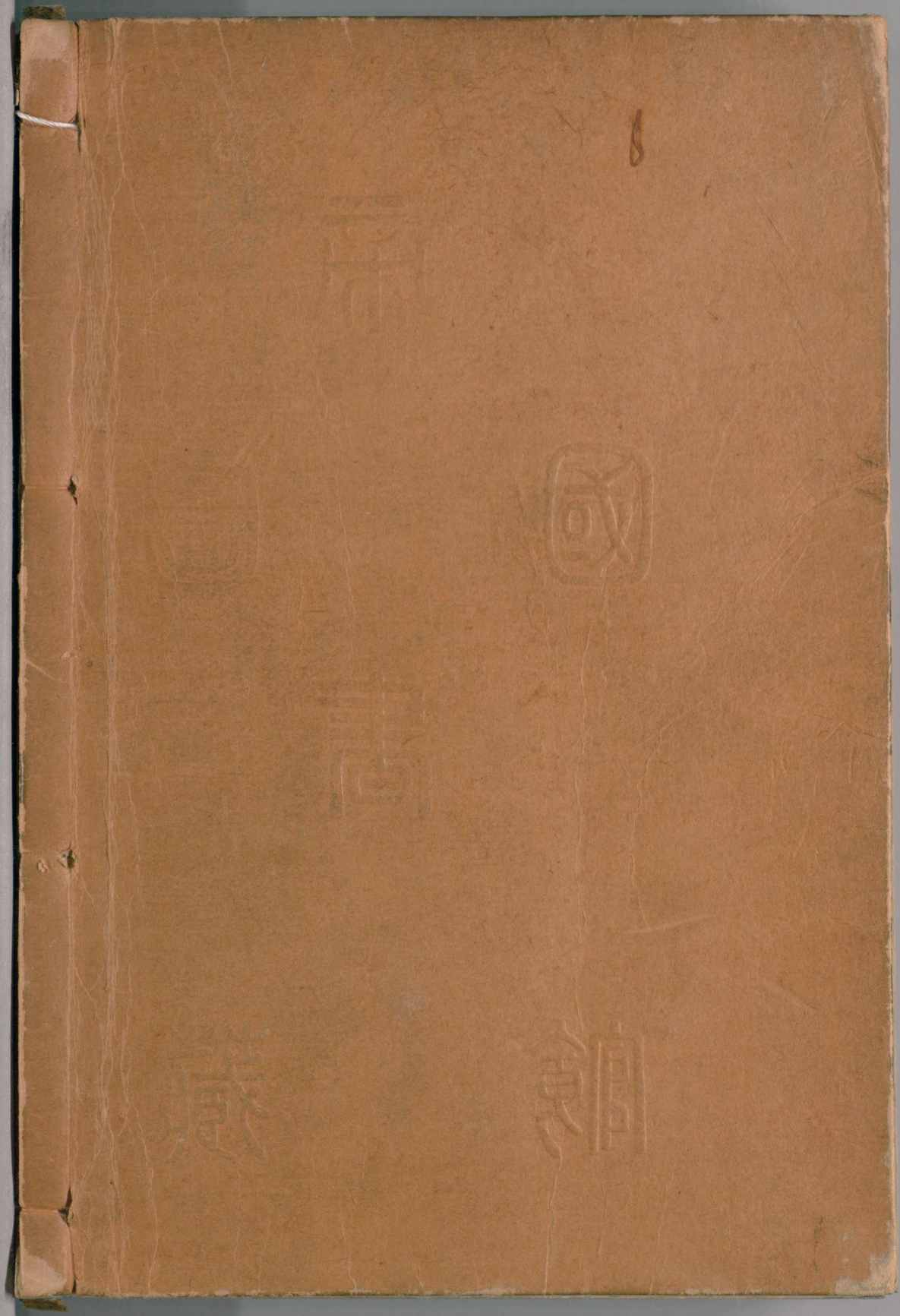
国立国会図書館　　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1

ガラス使用

卯
合66
1

国立国会図書館　　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『憲教類典』　請求記号　卯-1

ガラス使用